

平成 27 年 3 月 31 日

## 平成 26 年度不祥事ゼロプログラム検証結果

県立伊勢原高等学校  
事故防止会議

このことについて、次のとおり公表します。

### ・プログラムの策定状況について

#### 1. どのような体制で策定したか

企画会議で原案を作成し、全体で議論した結果をとりまとめて策定した。

### ・検証状況について

#### 1. プログラムの検証

10 月、1 月、3 月に検証を実施した。

#### 2. 検証によって認識した所属の課題

業務多忙化の中、職員一人ひとりがどのように不祥事防止を日常的に意識していくことができるかが課題である。

担当者だけで判断せず、「報告・連絡・相談」の徹底と常に職員間の連携を重視して業務にあたる事が課題である。

PC 教室の使用整理簿が整備されていなかったため、使用状況が把握できていなかったことが課題である。

#### 3. プログラムの実施で職員のコンプライアンス意識の変化について

職員の不祥事防止に対する意識は高いが、生徒に関わる業務においては特に気をつけて適切な対応をとるように心がけている。

個人情報扱う際は、間違いが起りやすい作業は複数の目で確認し、細心の注意を払うよう意識するようになってきている。

備品等の管理においては、公の財産という意識を持ち、破損や紛失のないよう注意している。

#### 4. 所属で今後改善すべき対策は何か

「不祥事防止のための一言」を今後も続けるなどして、個々が不祥事防止を常に意識して行動できるように努める。

お互いに常に声を掛け合う、二人以上で確認作業を行うなど、意思疎通不足や連携不足によるミスを無くしていく。

若手教員が職場に増えていく中で、研修会などを通じ事故防止の重要性を説いていく。

### ・ゼロプログラムの公表について

#### 1. 実施対象と時期

平成 26 年度.....6 月にホームページに公表した。